

令和3年度12月定例記者会見 次第

日時：12月24日（金）13時30分

会場：糸島市役所 庁議室

【出席者】

〔伊都国記者会〕朝日新聞社、糸島新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、
読売新聞社、NHK福岡放送局、時事通信社

〔糸島市〕市長、副市長、教育長

関係部課（企画部）ブランド・学研都市推進課

（産業振興部）商工観光課

（教育部）生涯学習課

- 1 市長あいさつ・市長短信 ●短信資料

- 2 1・2月のイベント ●イベント情報

- 3 案件
 - (1) 九大との共同研究『糸島地域における観光人流の見える化』
～デジタル観光統計による糸島市観光客の動向調査～
(商工観光課) ●資料1
 - (2) 香港で販路拡大と糸島観光のPR活動を実施
(ブランド・学研都市推進課) ●資料2
 - (3) 令和4年糸島市成人式
(生涯学習課) ●資料3

- 4 懇談・その他

■次回定例記者会見の開催日時（予定）

日時：2月22日（火）13時30分～

場所：糸島市役所 庁議室

九大との共同研究を始めます そうまち 創街プロジェクト
『糸島地域における観光人流の見える化』
～デジタル観光統計による糸島市観光客の動向調査～

▼概要

- ・市と九州大学で、スマートフォンアプリの位置情報を活用した人流分析技術を行い、観光動態分析の共同研究（糸島市協定大学等組織対応型連携研究事業）を実施することとなりました。
- ・この技術を活用すると、各観光地への来訪者数や周遊情報だけでなく、来訪者がどこから来たのかなどの情報を過去に遡って、日別に見ることができます。このため、通常の調査では不可能であった、天候や曜日、イベント開催の有無などの多様な要件を加味した観光客の動向分析を行うことができます。
- ・この技術は、2020年度から九州大学大学院システム情報科学研究院の荒川豊教授が代表として、九工大および民間企業（(株)プログウォッチャー）が開発した技術です。この度、公益財団法人九州経済調査協会が商用化し、全国発、地方自治体向け観光動態モニタリングサービス『おでかけウォッチャー』の活用第1号として、事業者とも協力しながら市と九州大学で実用ベースとしての運用研究に取り組むものです。
- ・コロナ禍による地域経済の落ち込みに立ち向かい、元気な観光のまちづくりを持続していくために、この研究事業を通じ市内・近隣市の観光地との周遊状況や人々の属性を把握し、今後のPRや移動手段の確保、ツアープランの提案等、糸島の効果的・戦略的な観光事業の展開に活用していく予定です。



▼研究の内容 詳細は別紙参照

- ・公益財団法人九州経済調査協会が開発・運営するデジタル観光統計ダッシュボードを活用し、スマートフォンのアプリからアクティブユーザ約2500万人の人流（位置情報）データを取得、分析。
- ・市内外の観光地約100か所を観測ポイントとして抽出し、各ポイントの人流に関してデータを収集する。分析項目予定：来訪地分析、発地分析、属性分析、前後別周遊分析など
- ・分析の結果を踏まえて、糸島観光の地域特性を明らかにするとともに、その結果の観光施策への反映手法を導き出す。

▼研究によって期待できること

- ・糸島観光の地域特性の判明（どこから来たのか、時間帯や回遊性など観光客の動向）
- ・研究で得たデータを糸島の観光のまちづくりへ活用

効果的・戦略的な事業展開（企画立案、プロモーション等）、継続的なデータ取得へ

≪活用例≫

観光客の嗜好にあった観光ツアーの造成に活用

→滞在時間、消費行動を高める

嗜好にあわせた周遊コースの設定や、プロモーションに活用

→分散型観光促進へ

周遊観光バスのコース設定に活用など

→2次交通不足の解決へ

- ・糸島市DMO（観光協会）との情報共有による新たな事業の展開

▼研究期間

- ・令和3年12月1日～令和4年3月31日

*令和4年度においても継続的に研究していく方向で調整中。

【問い合わせ先】

九州大学 大学院システム情報科学研究院

教授 荒川 豊

電話 : 802-3794

メール : arakawa@ait.kyushu-u.ac.jp

【問い合わせ先】

産業振興部 商工観光課 観光振興係

担当：長谷川

電話：332-2080 内線：1859

▼研究者からひとこと

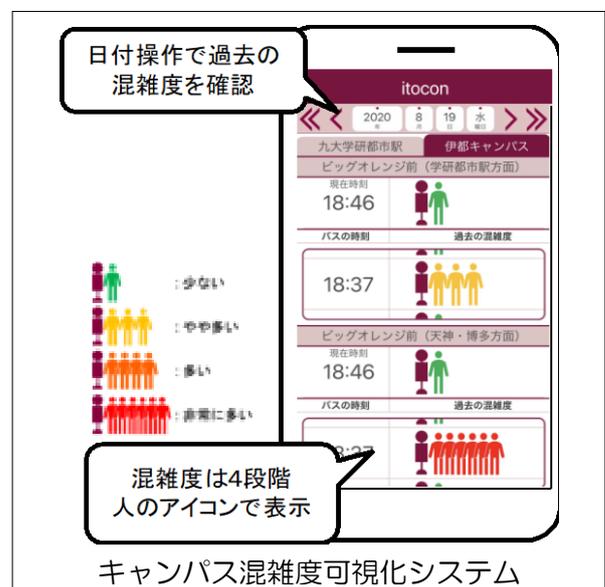
九州大学・大学院 システム情報科学研究院

ヒューマノフィリックシステム研究室 荒川 豊 教授

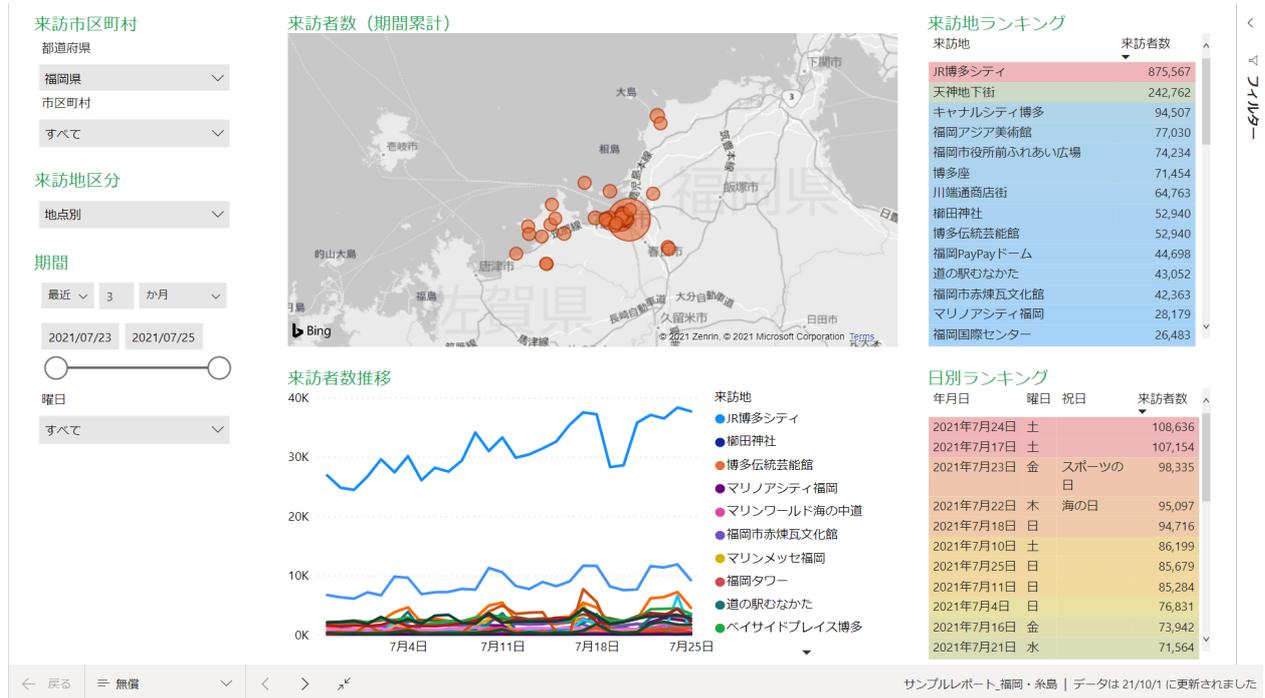
- ・ヒューマノフィリックシステム研究室では、実世界からのセンシング技術とクラウドでのデータ処理技術、その間を結ぶネットワーク技術という情報領域の多様な技術を組み合わせ、人に寄り添うサイバーフィジカルシステム（CPS: Cyber-Physical Systems）に関する研究を行なっています。
- ・特に、センサ（IoT）と機械学習（AI）を用いた人の行動認識に関する研究を核としており、その実現のために新しいセンサの開発からアプリケーションの実装まで幅広く実施しています。さらに行動認識の先にある研究として、情報技術による行動変容の励起と、行動変容を踏まえた社会システムに関する研究に力を入れています。
- ・例えば、コロナ禍において九大生や職員が混雑を回避して通学・通勤・食事を行うことを支援するため、キャンパス混雑度可視化システム itocon (<https://itocon.arakawa-lab.com/>) というサービスを開発しています。
- ・今回の糸島市との共同研究は、NICT 委託研究（2020-2021）で実施中の「大規模位置データ連携による観光施策立案評価システムの研究開発」に関連するもので、この成果をもとに開発された「おでかけウォッチャー」を実際の自治体である糸島市で活用し、来年度の観光施策立案に活かしていきます。



九州大学 大学院システム情報科学研究院
教授 荒川 豊



▼観光動態モニタリングサービス「おでかけウォッチャー」とは



おでかけウォッチャーHP より引用

・データ入手の制約やデータ活用人材不足などにより、多くの自治体ではデータに基づいた観光政策の立案や観光マーケティングの実現が困難な状況である。これらの課題を解決するため、九州経済調査協会において、全ての地方自治体が無理なく観光統計のデジタル化を推進できるよう、基本無償で簡単に利用できる観光動態モニタリングサービス「おでかけウォッチャー」の提供を2021年11月から開始。

・「おでかけウォッチャー」とは、(株)ブログウォッチャーが保有する位置情報ビッグデータ（複数のスマホアプリから取得した月間2,500万人分の位置情報のビックデータ）を活用して、登録された観光地の人出や人流などを把握できるクラウドベースの観光動態モニタリングサービスであり、市区町村および観光スポット来訪者の行動特徴を準リアルタイム提供するWebサービス。

任意の観光スポットに対する、月曜～日曜までの日別来訪者数を翌木曜に把握が可能。

市区町村日別来訪者数（市区町村：ご希望の観光スポット20箇所の集計値）、観光スポット日別来訪者数（観光スポット：ご希望の観光スポット3箇所の個別値）の基本機能を無償で提供。

※2021年12月17日現在 登録数 210団体

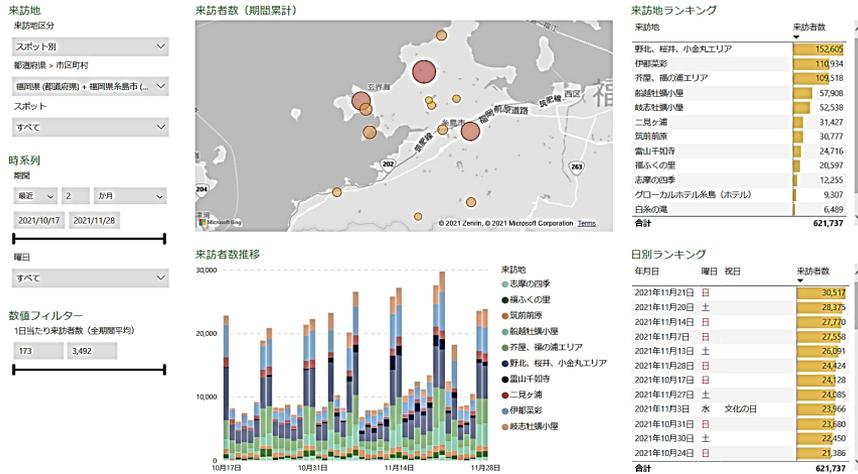
（行政・自治体・DMO・観光協会のみ登録可能、各市町村1登録のみ）

◎実施主体：公益財団法人九州経済調査協会（福岡市中央区渡辺通2-1-82 電気ビル共創館5F）
九州・沖縄・山口の地域経済産業に関する総合的調査研究と政策立案をおこなうシンクタンク

◎データ提供：株式会社 ブログウォッチャー（東京都中央区新川1-3-17 新川三幸ビル9F）
「プロファイルパスポート」位置情報データプラットフォームによる位置情報関連サービス開発・提供など

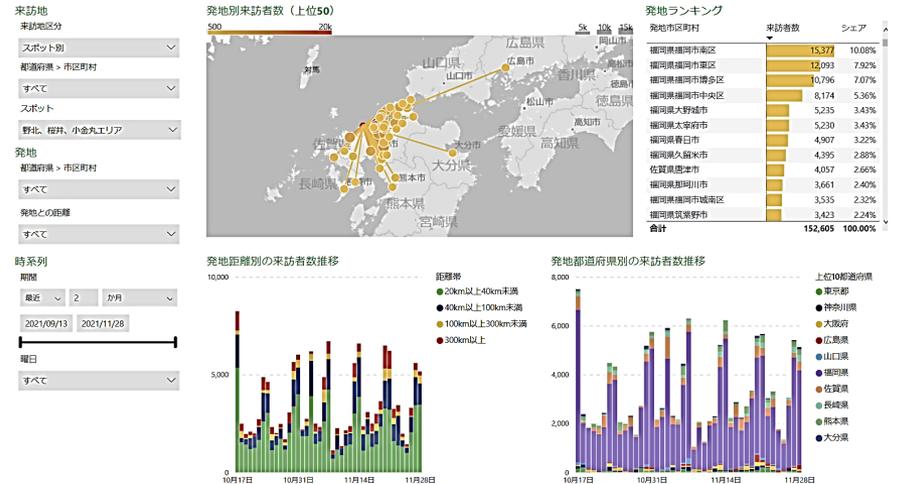
来訪地分析

どこに来ているのか
日別来訪者数を行政区・スポット別に表示



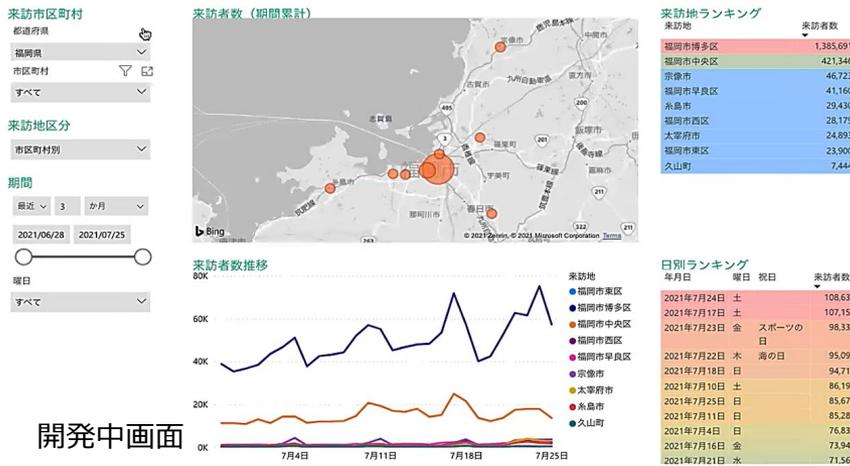
発地分析

どこから来ているのか
行政区・スポット別に発地市区町村を表示



属性分析

どんな人が来ているのか
行政区・スポット別に性年代構成比を表示



周遊分析

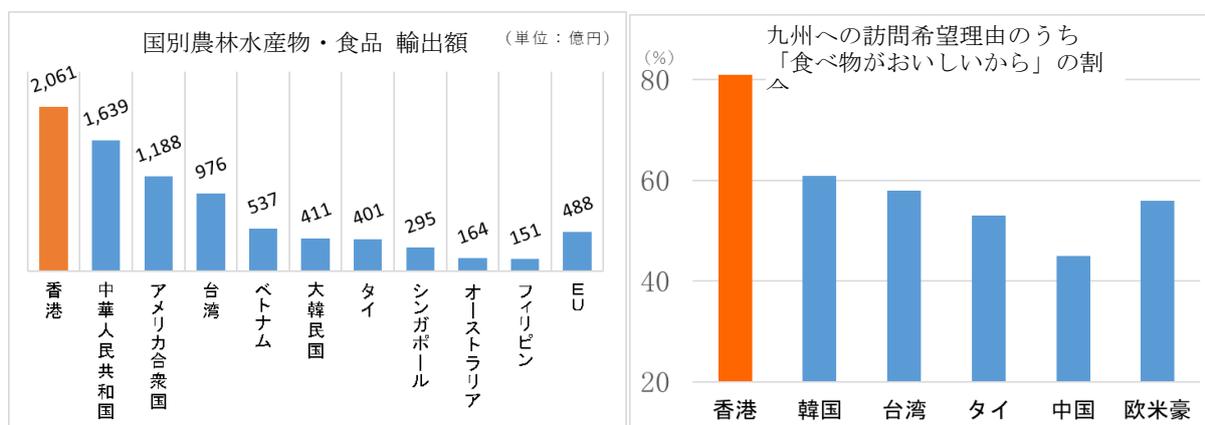
どこどこを周遊しているのか
スポット間の周遊者数を表示



開発中画面

香港で 販路拡大と糸島観光のPR活動を行います

日本の最大の食品輸出先であり、食に関心が高いなどインバウンドにおいても糸島との相性が良い香港で、糸島産品の販路拡大と糸島観光のPRを目的に、下記のとおりプロモーションを行います。



出典：農林水産省 2020年の農林水産物・食品 輸出額

出典：日本政策投資銀行九州支店

1. イベントの概要

(1) 糸島食材のPR

- ・現地で大人気の牡蠣小屋スタイル飲食店で、牡蠣小屋スタイル（ガンガン焼）を体験しながら、糸島牡蠣を味わうフェアを開催。（令和4年1月13日(木)～27日(木)）
- ・牡蠣を使ったパスタや鍋などのアラカルト料理などを実際に味わってもらい、糸島の食の魅力をPRする。



(2) 観光

- ・香港からの旅行者にも人気の牡蠣小屋を香港で体験してもらい、糸島の牡蠣小屋を印象付けると共に食と観光の魅力を発信。
- ・店舗では、カキ小屋や糸島の風景の映像の上映、ポスター等の掲示、観光パンフレットの来客者への配布など、香港にいながら糸島を感じられる演出を行ない、現地の旅行好きの方に糸島の魅力をアピールする。



(3) 現地での情報発信

- ・現地のインフルエンサーやメディアを活用して、糸島の魅力を香港から発信。
- ・航空会社や輸出入関係機関の関係者など、各分野でのキーパーソンを招待して、ブランド糸島の認知向上及び情報拡散を図る。

(4) 実施体制

- ・委託事業により実施。
- ・コロナ禍のため、市の職員等の現地への派遣は行わない。
- ・受託事業者、輸出事業者、及び現地卸売事業者などの協力を得ながら実施する。

2. イベント実施会場

「KAGURA」牡蠣小屋

- ・令和3年5月にオープンした牡蠣小屋スタイルの飲食店。
- ・香港随一の繁華街、銅鑼湾にある。
- ・夜の予約は1か月先まで埋まっている人気店。

店舗情報

- ・住所：The L' s Square 10階銅鑼湾
- ・FB：<https://www.facebook.com/kagurahut>
- ・その他：座席数32席、1日平均90名来店



3. イベント実施期間

令和4年1月13日（木）～27日（木）

殻付き牡蠣の提供は期間中の水曜日～日曜日

（ボイル牡蠣を利用したメニューは期間中を通して提供）

（参考）香港インバウンドの分析

（株）日本政策投資銀行レポート（R3年12月）より）

食に関する関心が高く、食品や飲料、スイーツが好まれているのは、旬のコンテンツに敏感な志向も影響していると推測される。

また、ヒアリング等によれば、当地からの旅客は日本に”都会”を求めていない面もあるとのことから、九州の豊かな大自然や九州独自のシーズンコンテンツを四季折々にアピールすることに加え、分かりやすい交通アクセス情報をも提供することで、自身で旅をカスタマイズできるようにすることが肝要であろう。

☞ 糸島との親和性が高いことが分かる。



香港ウォーカー(2018)糸島特集

【問い合わせ】

糸島市企画部 ブランド・学研都市推進課

ブランド推進係 担当：岩田

電話：332-2079

メール：iwata.h.657@city.itoshima.lg.jp

令和4年糸島市成人式を中学校区ごとに実施 ～メダリストのお2人から 新成人へのメッセージ動画を上映予定～

例年は前原・志摩・二丈の3会場で開催していた成人式ですが、令和4年は新型コロナウイルス感染症対策のため、中学校区ごとに分散し6つの会場で開催します。

1 実施日 令和4年1月10日（月・祝）

2 会場・時間

【志摩会場】志摩中学校区	：可也コミュニティセンター	開式10時00分
【二丈会場】二丈中学校区	：一貴山コミュニティセンター	開式10時00分
	福吉中学校区：福吉コミュニティセンター	開式10時00分
【前原会場】前原西中学校区	：前原西中学校体育館	開式13時30分
	前原中学校区：前原中学校体育館	開式13時30分
	前原東中学校区：前原東中学校体育館	開式13時30分

※ 受付は開式30分前から

3 校区別対象者数・新成人代表者

中学校区	対象者数	司会者	代表あいさつ
志摩中学校区	114人	友岡 亜実	熊本 愛花
二丈中学校区	69人	村山 葉津季	夏木 俊輔
福吉中学校区	22人	鶴田 隼斗	加茂 将馬
前原西中学校区	291人	田中 海都	重富 朱音
前原中学校区	217人	立石 晃太	藤井 陸
前原東中学校区	261人	安川 未蘭	伊藤 颯太郎

4 ビデオレターの上映

恩師からのお祝いメッセージに加え、今夏の東京2020オリンピック・パラリンピックで活躍され、メダルを獲得された糸島市出身の「林咲希さん」と「瀬戸勇次郎さん」から新成人へ向けた激励メッセージを頂き、各会場で式典前に動画の上映を行う予定です。



【問い合わせ先】

教育部 生涯学習課 社会教育係 担当：塔野

電話：332-2092

メール：shogaigakushu@city.itoshima.lg.jp